

目 次

□ 絵

はじめに	1
第1章 三番瀬自然環境モニタリング	3
1.1 自然環境モニタリング	3
1.2 三番瀬における自然環境モニタリング	3
1.3 市民による三番瀬のモニタリングとその役割	4
第2章 モニタリングの流れと留意点	6
2.1 モニタリング計画の策定	6
2.2 モニタリング対象の選定	6
2.3 モニタリング地点の選定	7
2.4 モニタリング期間と頻度	8
2.5 調査準備	8
2.5.1 調査票の作成	8
2.5.2 調査日の設定	9
2.5.3 関係法令上の手続	10
2.5.4 予備調査	10
2.6 調査当日の準備・設定	10
2.6.1 服装等	11
2.6.2 役割分担の決定	11
2.6.3 調査位置の特定	12
2.6.4 調査の実施	12
2.6.5 注意事項	12
2.7 同定・標本管理	14
2.8 データ整理	15
2.9 報告書作成	16
2.10 モニタリング結果の蓄積と活用	16

第3章 モニタリング調査	17
3.1 底生生物のモニタリング調査	17
3.1.1 モニタリングの着眼点	17
3.1.2 コドラート法（粹取り法）＜協働＞	18
3.1.3 船を使った採泥器による調査（参考）	20
3.2 付着生物のモニタリング調査	21
3.2.1 モニタリングの着眼点	21
3.2.2 コドラート法（粹取り法）＜専門的＞＜協働＞	21
3.2.3 目視調査＜市民＞	22
3.3 プランクトンのモニタリング調査	22
3.3.1 モニタリングの着眼点	22
3.3.2 プランクトン調査＜市民＞	22
3.3.3 植物プランクトン調査＜専門的＞＜協働＞	23
3.3.4 動物プランクトン調査＜専門的＞＜協働＞	23
3.4 魚類のモニタリング調査	24
3.4.1 モニタリングの着眼点	24
3.4.2 釣り情報の提供＜市民＞	24
3.5 鳥類のモニタリング調査	24
3.5.1 モニタリングの着眼点	24
3.5.2 センサス調査＜専門的＞＜協働＞	25
3.5.3 一斉調査＜専門的＞＜協働＞	25
3.6 海藻・海草類のモニタリング調査	26
3.6.1 モニタリングの着眼点	26
3.6.2 コドラート調査＜市民＞＜専門的＞	27
3.6.3 目視調査・写真調査＜市民＞	27
3.7 海浜植物のモニタリング調査	27
3.7.1 モニタリングの着眼点	27
3.7.2 植物相調査＜専門的＞	28
3.7.3 植生調査＜専門的＞	28
3.8 水質のモニタリング調査	30
3.8.1 モニタリングの着眼点	30
3.8.2 目視調査＜市民＞	30
3.8.3 簡易測定調査＜市民＞	31

3.8.4	採水による水質調査 <協働>	31
3.9	底質のモニタリング調査	32
3.9.1	モニタリングの着眼点	32
3.9.2	底質調査 <協働>	32
第4章	もっと知りたい時	33
4.1	関係機関	33
4.2	参考文献	34
第5章	三番瀬の自然	35
5.1	三番瀬の生態系の特徴	35
5.2	主要な環境条件	36
5.2.1	地形	36
5.2.2	水質	36
5.2.3	赤潮	36
5.2.4	青潮	37
5.2.5	江戸川放水路からの淡水の流入	37
5.2.6	中小河川水の流入	38
5.2.7	底質	38
5.2.8	潮流	39
5.2.9	波浪	39
5.3	人間活動	39
5.3.1	漁業	39
5.3.2	航路	40
5.4	三番瀬の生物	40
5.4.1	分類群から見た三番瀬の生物	40
5.4.2	生活様式から見た三番瀬の生物	41
5.4.3	生物の生活史と三番瀬との関係	42
5.5	三番瀬の主要生物	43
底生生物	45
魚類	57
鳥類	64

コラム一覧

潮位について	9
種名について	15
底生生物の摂食様式	18
固定について	20
双眼鏡と望遠鏡	25
植生、優占種、植物群落	29
粒度組成、強熱減量、酸化還元電位	38
生物の分類	41
生物の生活史	42

図表一覧

図1 底生生物調査票	8
図2 植生調査調査票	9
図3 底生生物の調査用具（コンテナ、ふるい、巻尺等）	18
図4 底生生物調査（コドラート法）	19
図5 船を用いた底生生物調査	21
図6 付着生物調査（コドラート法）	22
図7 鳥類調査（センサス調査）	25
図8 海藻・海草類調査（コドラート調査）	27
図9 底質調査	32